

記者発表資料
配布先: 石川県政記者クラブ

発表日時	平成20年10月16日
------	-------------

平成20年度 補正予算

記者発表資料



取 扱 平成20年度補正予算成立後解禁

お問い合わせ先
国土交通省金沢河川国道事務所 TEL 076-264-8800(代)

【治水関係】 調査第一課長 森田(もりた)

【道路関係】 調査第二課長 吉田(よしだ)

平成20年度 補正予算(金沢河川国道事務所)

台風、豪雨などによる災害の防止等のために実施すべき事業を推進するための

一般公共事業費等として 約 1,081 百万円

が配分されました。

● 金沢河川国道事務所 平成20年度補正予算表

(単位:百万円)

	一般公共事業費等
治水関係	680
道路関係	401
事務所計	1,081

● 主要事業

○ 治水関係

- ・梯川重点区間(小松地区)改修の整備推進
- ・別当法面对策の整備推進
- ・甚之助谷上流山腹工の整備推進
- ・石川海岸(片山津工区)の光ファイバ整備推進

○ 道路関係

- ・国道8号(加賀拡幅の整備推進)
- ・防災対策及び橋梁補修対策の推進

かけはしがわ

梯川重点区間（小松地区）改修事業の推進

梯川水系梯川（石川県小松市）

●安全・安心な地域づくり

- ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川で、氾濫域に人口、資産等が集中している一方で、洪水の流下能力が著しく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点～鍋谷川合流点間（1.0k～7.6k 間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次、引堤による堤防整備により流下能力の向上を図っています。

また同改修区間においては小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し、地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

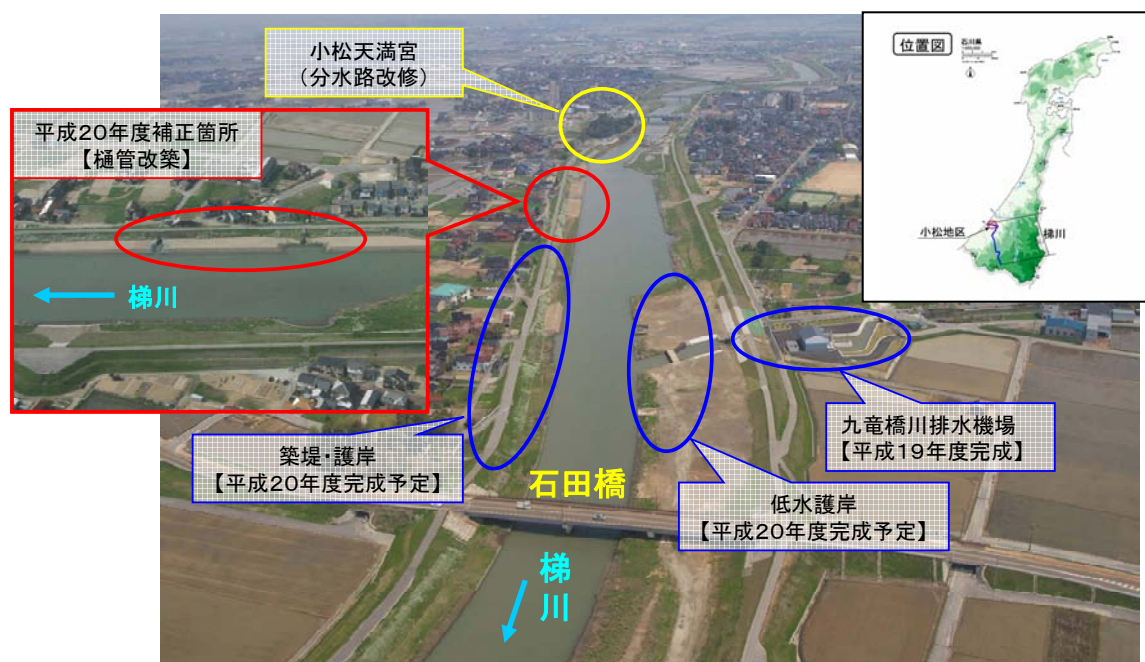
事業着手

昭和46年度

平成20年度の補正内容【一般公共】

近年、平成10年9月、平成16年10月及び平成18年7月と洪水が頻発していることから、市街地が隣接している重点改修区間のうち小松地区の堤防整備（引堤）を進めているところです。今回、樋管改築等を実施し一連区間の進捗を図ります。

- ・天神地区 樋管改築 1 式



改修の進む梯川（平成20年4月撮影）

べっとう
別当法面对策の整備完成
手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

- 安全・安心な地域づくり
 - ・観光の拠点地域における安全・安心確保

事業の概要

別当谷については、平成16年5月7日発生の土石流により別当出合の登山用吊橋流出や砂防新道への土砂堆積などの大きな被害を受け、年間約5万人が訪れる登山者に甚大な影響を与えました。また、平成18年9月7日にも別当谷上流で山腹崩壊があり、登山道（砂防新道）に影響を与えています。

今年度、別当谷第15号砂防堰堤の右岸法面において、凍結融解及び降雨が起因と考えられる崩壊が拡大している事が確認されました。法面上部には、登山道（砂防新道）ならびに砂防工事用道路があり、また直下流には別当出合（登山基地）があるため早急に対策を行う必要があります。

整備効果

別当谷法面对策の完成により、更なる法面崩壊の拡大を防止するとともに、登山道（砂防新道）ならびに砂防工事用道路の安全度を向上させます。

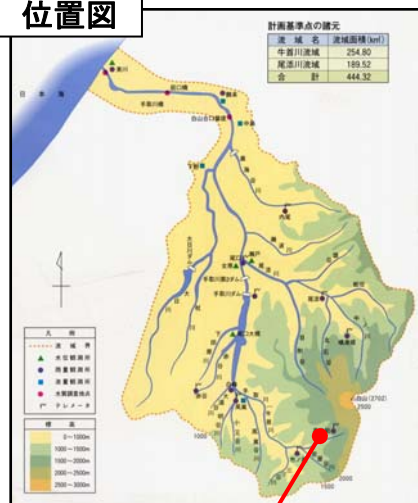
事業着手

平成19年度

平成20年度の補正内容【一般公共】

法面崩壊に伴う土砂災害に対する安全度の向上を図るため、別当谷右岸において法面对策として山腹工を整備します。

位置図



別当法面对策

平成19年7月撮影



別当谷第15号砂防堰堤

登山道(砂防新道)

砂防工事用道路

平成19年10月撮影



H19施工

山腹工

H20補正

別当谷

別当谷第12号砂防堰堤

別当谷第13号砂防堰堤

別当谷第14号砂防堰堤

別当谷第15号砂防堰堤

別当谷第16号砂防堰堤

じんのすけだに

甚之助谷上流山腹工の整備完成

手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

●安全・安心な地域づくり

・観光の拠点地域における安全・安心確保

事業の概要

平成16年5月7日発生の土石流により別当出合の登山用吊橋流出や砂防新道への土砂堆積などの大きな被害を受け、年間約5万人が訪れる登山者に甚大な影響を与えました。また、平成18年9月7日にも別当谷上流で山腹崩壊があり、登山道（砂防新道）に影響を与えています。

甚之助谷上流部においては、昭和初期に建設された階段式の砂防堰堤の右岸袖部が破壊され、山脚の浸食が進んでいます。このまま浸食が進んだ場合、大規模な崩壊へと発展する可能性があります。斜面上部には、登山道（砂防新道）もあることから早急に対策工を行う必要があります。

整備効果

甚之助谷上流山腹工の完成により、更なる山脚浸食の拡大を抑えるとともに、登山道（砂防新道）の安全度を向上させます。

事業着手

平成19年度

平成20年度の補正内容【一般公共】

山脚浸食に伴う土砂災害に対する安全度の向上を図るため、甚之助谷上流右岸において山腹基礎工を整備します。



光ファイバー・CCTVカメラの整備 (石川県加賀市)

- 安全・安心な地域づくり
 - ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

石川海岸では高波浪時等の海岸施設点検のため白山市側より光ケーブル・CCTVカメラの整備を順次進めており、現在は小松工区終点までの整備が完了している。

片山津工区では沖合施設の整備が進んでおらず災害が多発している状況であるため、高波浪来襲時等の海岸保全施設の状況を迅速かつ的確に把握するため、片山津工区における光ケーブルの整備を進めるものである。

整備効果

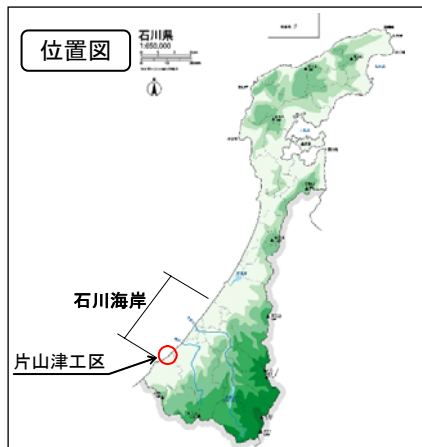
石川海岸全域における海岸施設の状況把握が可能となり、住民への警戒避難体制の支援を図ることができる。

事業着手

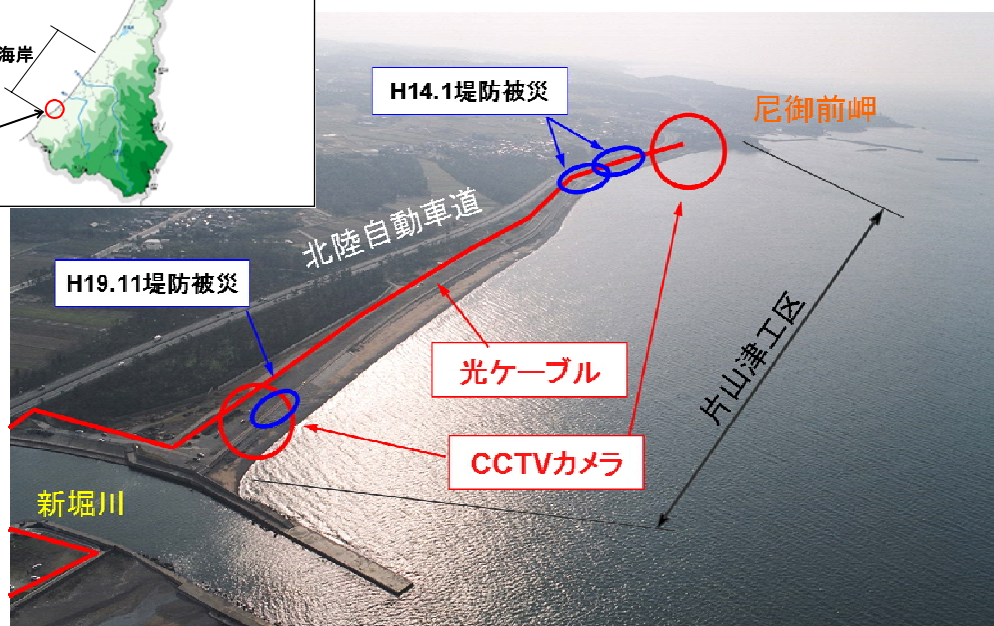
平成20年度

平成20年度の補正内容

平成20年度補正では光ファイバーの整備6000m及びCCTVカメラ2基の整備を実施します。



平成19年11月被災状況写真



国道 8 号^{かが}加賀^{かが}拡幅事業の推進

石川県^{いしかわ}加賀市^{かが}

- 安全・安心な地域づくり
- ・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

加賀^{かが}拡幅は、加賀市内の交通混雑の緩和を目的とした延長約 6.4km の事業です。

整備効果

北陸自動車道^{かが}加賀 I C と国道 8 号^{こまつ}小松バイパスに挟まれたボトルネック区間において、加賀温泉郷^{かがおんせんこう}を中心とする加賀市の経済活動や観光を阻害する渋滞を解消します。

事業着手

平成 15 年度

平成 20 年度補正予算の内容

箱宮町^{はこみやまち}～分校地区^{ぶんぎょう}の改良工事を推進し、災害時の緊急輸送路となる本事業の早期整備を目指します。



○ : H20補正施工箇所

防災対策及び橋梁補修対策の推進

いしかわ か が はくさん の み かなざわ
石川県加賀市、白山市、能美市、金沢市

●安全・安心な地域づくり

- ・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

国道8号の南郷地区は、過年度に実施した防災点検のフォローアップ点検を今年度実施したところ、小規模崩落が各所に見られたことから、法枠工などの法面対策を実施し、安全・安心な道路ネットワークを確保するものです。

また、国道157号の犀川大橋、山上郷大橋及び一の宮大橋は、現地調査の結果、桁端部の腐食や塗装の劣化、支承の腐食の進行が確認されたため、劣化の著しい箇所について塗装塗替などの補修工事を行い、橋梁の長寿命化を図るものです。

整備効果

緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成20年度

平成20年度補正予算の内容（山上郷大橋の事例）

今年度実施した現地調査の結果、桁端部の塗装の劣化や支承の腐食の進行が確認されたため、桁端部や支承等における劣化の著しい箇所について部分的に塗装塗替を行います。

塗装の劣化

支承の腐食



塗装の劣化及び支承の腐食状況

位置図

